

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H 2 6 堤防整備効果分析検討業務
業 務 概 要	本業務は、費用対効果分析を行う上で、浸透対策等の質的整備を考慮した評価手法の検討を行うとともに、都市部における今後の河川改修の方向性について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成26年9月2日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町3-21-1
契 約 金 額	¥19,958,400円(税込み)
予 定 価 格	¥19,969,200円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、費用対効果分析を行う上で、浸透対策等の質的整備を考慮した評価手法の検討を行うとともに、都市部における今後の河川改修の方向性について検討を行うものである。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。 株式会社建設技術研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成26年9月3日
履 行 期 間 (至)	平成27年3月13日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。